

# 政務活動報告

政務活動にかかわる報告書が下記のとおり提出されました。

会派名	研修者	研修日・研修地	研修・調査内容
新波クラブ	近藤 芳人	令和5年2月2日（木曜） ～2月3日（金曜）	① 1) 地域医療に関し平戸市の医師確保と緊急搬送について調査する 2) 長崎県が進めるIRの現状と今後について調査する 3) 県北地区における今後の道路整備方針計画などを調査する 4) 百年に一度の変革期と言われる長崎市の都市構想を調査する 5) 移住サポートセンターの機能と昨今の移住動向などを調査する ② 出島メッセ（2021年11月オープン）の機能と活用状況などを調査する ③ 食品開発支援センター（2021年4月オープン）の機能を調査する ④ 長崎県環境保健研究センターの機能を調査する ⑤ 平戸市のふるさと納税委託先となった(株)スチームシップの概要、方針、ふるさと納税の傾向、平戸市の強みや弱み、戦略などを調査する
	神田 全記		
	吉福 弘実		
	針尾 直美		
	大村 謙吾		
	綾香 良浩		
	山内 貴史		
	井元 宏三	①長崎県庁（長崎市） ②出島メッセ長崎（長崎市） ③長崎県食品開発支援センター（大村市） ④長崎県環境保健研究センター（大村市） ⑤(株)スチームシップ（東彼杵郡波佐見町）	
	山田 能新		
	松本 正治		

政務活動とは、市政や市政と関連性がある事柄に関する調査・研究、その他活動に資するために必要な会派活動および議員活動のことを言います。平戸市では、この政務活動にかかる経費の一部として、会派に対し、その所属議員数に応じて1人あたり月額1万円の政務活動費が交付されています。

※すべての報告は、議会事務局にて閲覧できます。

# 総務厚生委員会所管事務調査報告



## 中間報告

総務厚生委員会は、令和4年9月定例会において、閉会中の所管事務調査の付託を受け、『今後の行財政運営について』をテーマに合計3回の委員会を開催しました。令和4年11月8日、17日に開かれた委員会においては、「公共施設配置の適正化」「定員適正化計画による取り組み」「新たな歳入の確保」「ふるさと納税の取り組み推進」に関して意見や質問がなされ、令和4年12月定例会において中間報告を行いました。（内容は、議会だよりvol.78-令和5年2月1日号に掲載）

令和5年1月26日に開かれた委員会では、担当部局から「平戸市公共施設等総合管理計画 第1次アクションプラン（中間年度見直し）」について説明を受け、委員会として次のとおり意見を取りまとめました。



## 最終報告

- 現状のまま公共施設を維持し続けた場合、人口減少に伴い施設の更新に係る市民一人当たりの費用負担が増加することから、平成29年度から令和38年度までの40年間で、公共施設に係る更新費用を約40%削減する目標を掲げている。この目標を達成するためには、市民に対し公共施設の現状、課題、役割などを周知し、共通認識を持つ必要がある。市民との合意形成は必要不可欠であり、市民・地域自らに必要とする施設を考えていただくことも必要である。  
公共施設の適正化は、施設の集約や廃止といった市民にとっても身近な問題であるため、広報ひららの特集号の発行により計画の進捗状況を定期的に公表するなど、積極的に情報を発信すべきである。
- 施設を所管する担当部署においては、個別施設計画や運営方針があると考え、各部署と連携・調整を行い、長期的な視点で公共施設全体の方向性をマネジメントする必要がある。
- 今後、人口減少などの影響により、公共施設の利用需要が減少するものと考えられる。施設の維持管理に加え、老朽化に伴う多額の更新費用も見込まれるため、施設の利用状況に基づいた費用対効果の観点も踏まえた、公共施設のあり方を検討すべきである。
- 小学校の統廃合などにより用途廃止となった施設は、その後売却も含めた活用方針を検討されているものとする。売却は、法令に沿って適正な対価で売却しなければならないという原則があると思うが、用途廃止後、有効な活用が見られない場合は、公費で維持管理費を負担し続けることとなるため、売却価格の見直しを含め、市民や地域のため、より良い有効活用を議会などと協議を重ねながら検討すべきである。
- 公共施設に係る更新費用の削減目標を達成することは、行政・議会・市民の共通認識として推進しなければならない。  
市の推進体制として、各部署の進捗状況と市内全体を見通しながら公共施設の全体を把握し、進捗管理を行う専門部署の設置が必要であり、併せて、議会としても情報共有や協議を行える支援体制を整えることも必要と考える。  
専門組織としては、5年ごとの中間検証・見直しにおいても長期計画であることから専任職員が必要であり、長期的な人員配置、外部人材の登用も視野に推進体制を整えることが必要である。